

## 海外情報

No.27

調査者	宇野 勲
情報ソースの刊行日	2020年5月14日
情報ソースの調査日	2020年5月16日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月18日
日本語タイトル	COVID-19 による消化器症状
情報ソース	European Journal of Clinical Investigation
情報のカテゴリー	レビュー論文
発信地域	ポーランド
DOI	10.1111/eci.13276
URL	<a href="https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed">https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed</a>
要約	COVID-19 は肺だけでなく、下痢、嘔吐、嘔気、腹痛などの消化器症状を伴う。 消化器症状は呼吸器症状に先行して生じることがある。 また、SARS-CoV-2 ウイルスは糞便から検出されることがあり、直腸は鼻咽腔よりも長い期間ウイルスが残存する。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	COVID-19 は呼吸器症状に注意が向きがちだが、消化器にも注意する必要がある。 特に、医療介護従事者は、排泄介助などで排泄物の処理時に感染するリスクが高まるので注意が必要である。